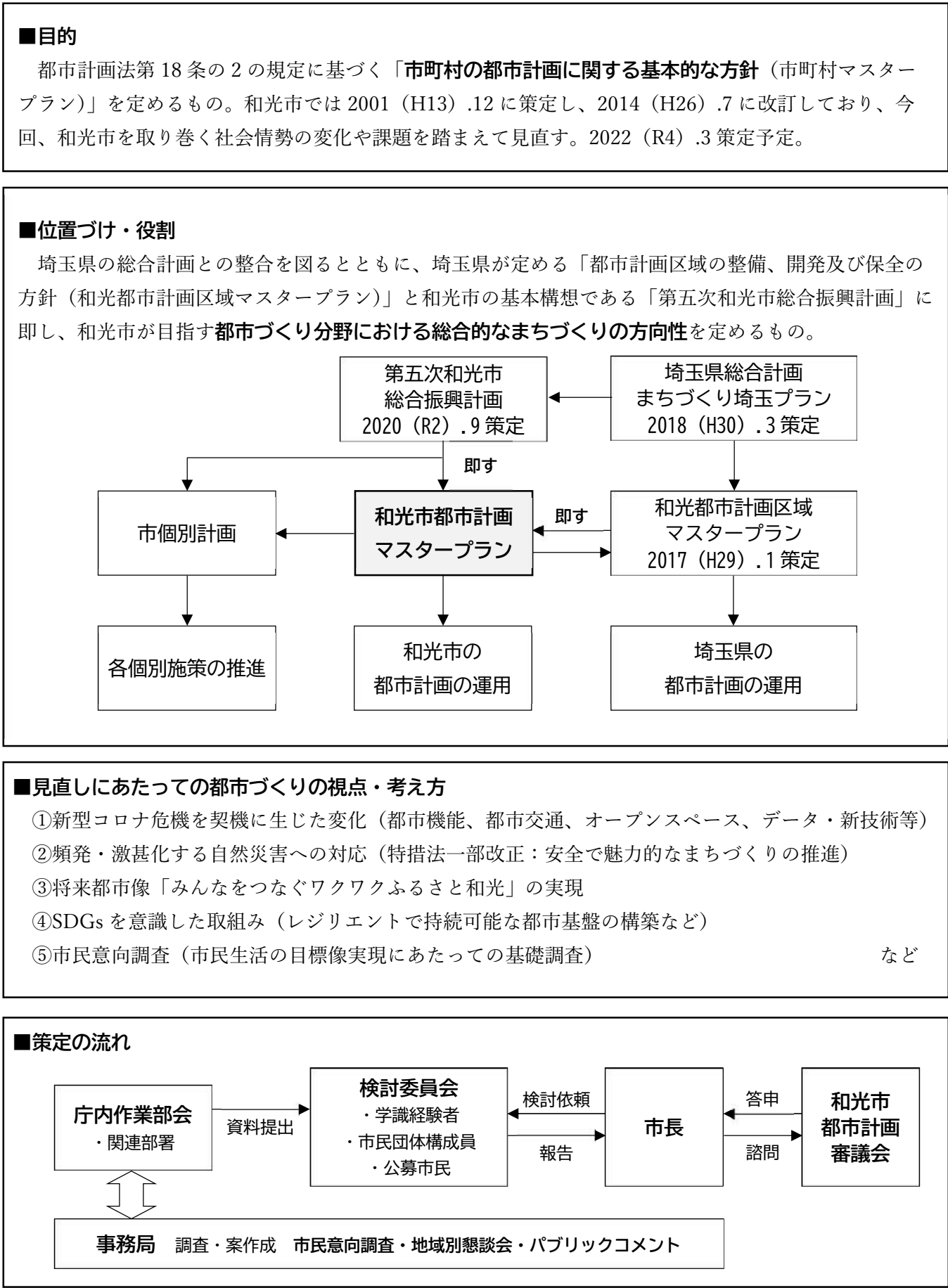
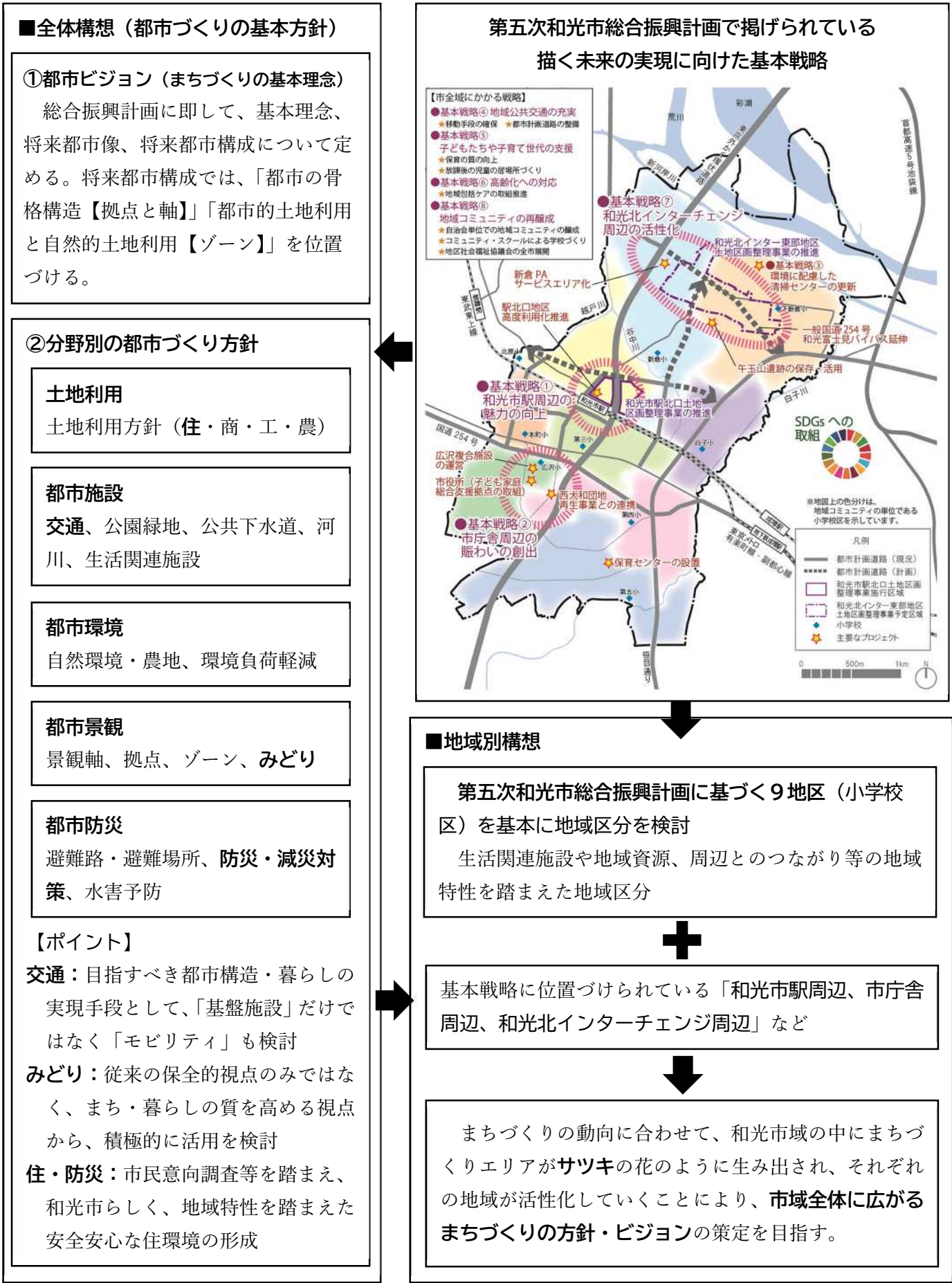


1. 和光市都市計画マスタープランについて



2. 和光市都市計画マスタープランの構成



3. 見直しの主な視点（都市ビジョン検討の方向性）

第五次和光市総合振興計画および現行計画をベースとして、都市ビジョン（まちづくりの基本理念）について下記に整理。

■基本理念（案）

より安心、より快適なまちづくり
－ みどり豊かな和光らしさを求めて

- 視点① 「より安心」なまちづくり
- 視点② 「より快適」なまちづくり

■将来都市像（案）

みんなをつなぐ
ワクワクふるさと和光

いろんな人やモノゴトがつながる中で
期待と愛着を感じられ、住んで良かったと
みんなが思える和光市を目指す

■将来の都市構成

①都市の骨格構造【拠点と軸】

- ・まちの中核的都市機能を担う核となる拠点と、生活を支援する身近な拠点をバランスよく配置し、きめ細かな生活支援機能を展開する。

●タウンコア（商業・業務拠点）：和光市駅周辺部

●シビックコア（行政・文化拠点）：市役所を中心とした公共施設が集積するエリア

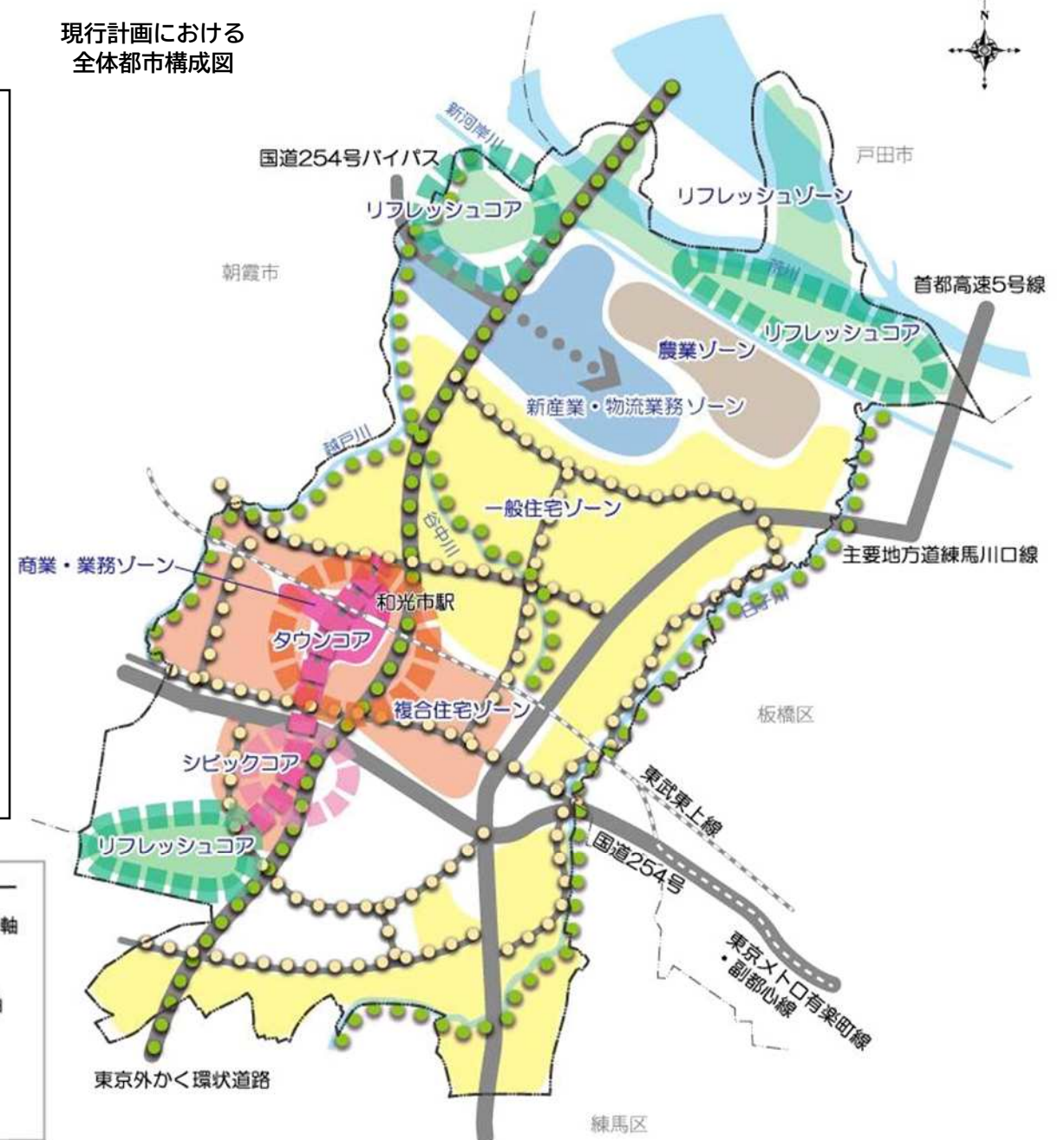
●リフレッシュコア：和光樹林公園、荒川河川敷運動公園及びアーバンアクア公園

②都市的土地利用と自然的土地利用【ゾーン】

- ・まちの資源（交通・みどり・住宅地・賑わいなど）を活かした、エリア特性ごとの特徴的な暮らし方のイメージとそのために必要となる空間像を定義する。

⇒市内を一面的に捉えず、建物の集積度、みどりの濃さや主要なモビリティなどに応じて、各々の特徴を活かした暮らしや都市活動のための空間像を定義する。

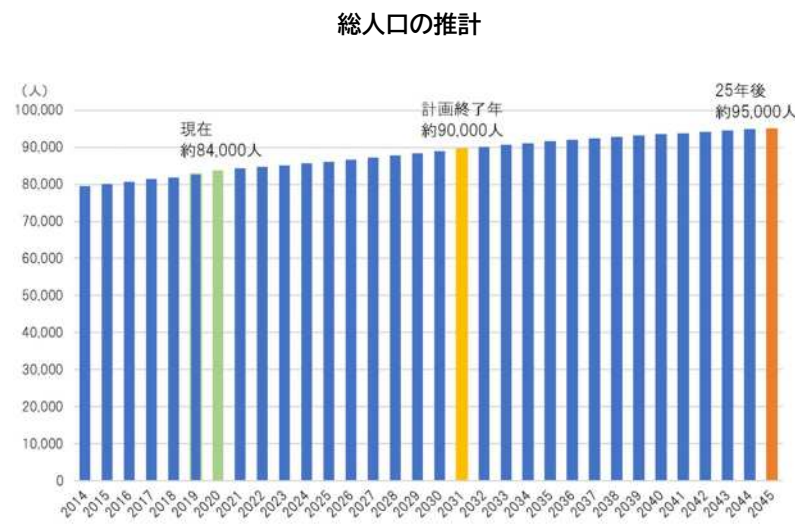
現行計画における
全体都市構成図



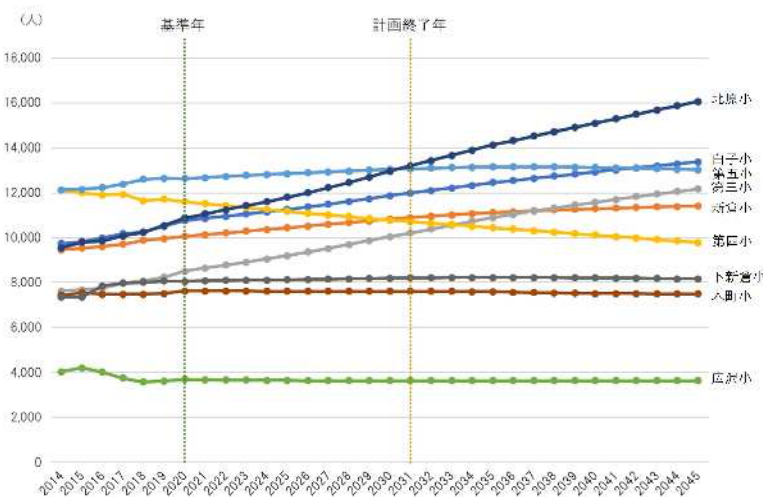
■都市フレーム（将来人口） 【和光市人口ビジョンより】

2020.1.1時点で約84,000人である人口が、第五次和光市総合振興計画終了年の2031年には約90,000人になると見込まれている。人口ビジョンで示す2045年には約95,000人と推計されている。

また、小学校区別の推計結果では、白子小学校区、新倉小学校区、第三小学校区及び北原小学校区において人口が増加すると予測されている。一方、第四小学校区では人口が減少すると予測されている。



小学校区別人口の推計



小学校区別人口の増減

